



第1回

SRIS-CSIS合同研究会

NanoTerasuとスピン

2024.11.5(火) 13:00-14:30

ハイブリッド
開催

NanoTerasuは、まるで学内共用装置かのような身近さである。特にコアリジョンビームラインは、予約だけで、気軽に・すぐに・短時間で・審査なしに利用が可能である。本研究会は、NanoTerasu利用の障壁を取り払い、国際卓越大学における本学研究者の成果と質をさらに向上することを目的とする。世界をリードするスピントロニクス研究者を擁するCSISと、NanoTerasuを使いこなすスペシャリストが揃うSRISのメンバーの講演を中心に、学生を含む学内の研究者の皆様に広くご参加いただき、意見交換を行う。

会場

片平キャンパス ナノスピン総合研究棟4Fカンファレンスルーム

<https://www.nanospin.riec.tohoku.ac.jp/access-j.html>

Zoom

<https://zoom.us/j/98270499716?pwd=CVadM4Te3MW1MmRixMhJGr4bin9bO.1>



Zoom入室↑

はじめに
NanoTerasuBL14Uでのスピンの可視化
XMCDスペクトルの高速計測
RIXS測定による磁性体の電子状態に関する研究
意見交換
おわりに

千葉 大地(SRISセンター長)
中村 哲也(SRIS/PhoSIC)
野村 光(SRIS)
梅津 理恵(CSIS/金研)

深見 俊輔(CSISセンター長)

スピンの可視化から、スペクトルの高速測定、電子状態の評価など、装置概要から利用例まで幅広く議論いたします。また、コアリジョンビームラインの優位性、共用ビームラインの優位性、利用障壁、ビームタイム確保、マンパワーの問題、どこにを使えば自身の研究に優位性を出せるか、より高度な利用をするにはどうすれば良いか、産学連携について、など、意見交換の場を設けます。

参加 申込

右記QRコードまたは下記WEBサイトよりお申し込みください。
当日の飛び入り参加も歓迎いたします。

<https://forms.gle/KGfksWm7ZiHk2wGv5>



参加申込↑

